

指導教員名	金 承珠
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	企業

～ ホーム&アウェー観光モデル ～

活動の様子



企画・活動概要

本モデルは、アウェーチームのファンが試合観戦のために訪れる際、試合観戦だけではなく神戸の観光も楽しめる仕組みを提供することを目的としている。特徴的なのは、神戸ストークスの選手がおすすめ飲食店や観光スポットを巡ることができるモデルツアーを企画している点である。これにより、アウェーチームのファンには神戸の魅力を存分に楽しんでもらうと同時に、ホームチームのファンにとっても地元の良さを再発見できる新たな観光ルートを提案する。

経緯・背景・目的

流通科学大学は2023年7月に神戸ストークスと観光振興・地域経済活性化に関する包括連携協定を締結しており、2025年春には神戸ストークスの新しい活動拠点となる「GLION ARENA KOBE」が開業され、神戸市においてスポーツ・ツーリズムは地域振興のキーワードとなると言える。本企画は、流通科学大学と神戸ストークスはスポーツと地域資源を戦略的に活用することで地域活性化を図り、スポーツ観戦をきっかけとした地域活性化の新しい形を目指す。



取り組む課題

神戸ストークスの選手に神戸のおすすめグルメや観光スポットに関するアンケート調査を行い、アンケート結果から神戸で回遊性を高め、滞在時間を延ばす魅力のある「1泊2日の神戸観光モデル」の5つの観光モデルを作成した。さらに、ゼミ生が考えた観光モデルをPRするため、チラシを作成し、2024年12月14日・15日の神戸ストークスのホーム試合で観客に配布した。また、チラシに学生が考えた観光モデルや今回のプロジェクトに関するアンケートを観客を対象に実施し、集まったデータから本企画の有効性等を分析した。

本学(学生)の役割

神戸ストークスが抱えているスポーツによる地域課題解決や地域活性化に関する課題の改善策として「ホーム&アウェー観光モデル」を提案および企画した。学生は観光スポットやグルメに関するデータを収集した上、新たな観光ルートを考え、本プロジェクトに関するチラシを作成した。さらに、神戸ストークスのホームゲーム会場に案内ブースを出展し、来場者にチラシを配布したり、客席を回りながら同ツアーについてのアンケート協力をお願いした。ハーフタイムにはゼミ生がコートに上がり今回の企画について紹介するなどPR活動を行なった。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本プロジェクトの成果としてホーム試合の際に来訪者から取ったアンケートを分析し、神戸ストークスに結果報告を行なった。企業や地域が抱えている課題について多くの人びとと交流し、コミュニケーションを図りながら、改善策を考えて自ら課題を発見し、解決できる能力の養成のみならず、地域理解や愛着心を深めると共に地域貢献につながる調査・研究活動ができたと言える。また、地域や企業人と直接触れ合うことで、将来のキャリアやビジネスに対する考え方を深め、自分の将来について真剣に考える機会が創出できると考える。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
准教授
金 承珠(キム スンジュ)

<専門・担当科目等>
観光事業論、観光産業論、
観光マーケティング論、
観光政策論、研究演習

<関係者・企業等>



株式会社One Bright KOBE / 株式会社ストークス
セールスDivision
中田 健介(ナカタ ケンスケ)